

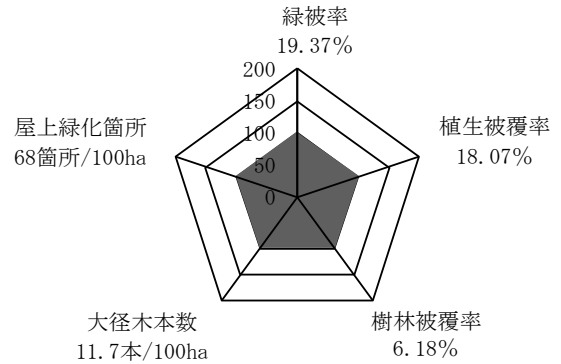
## 9 地域別の総合評価

ここでは、5地域別にみた緑の現況をとりまく条件を整理することによって、緑に関するデータ（緑のデータ）を作成し、区平均値と比較した。それを区全域及び5地域別の総合評価とし、次頁より記載する。また、その項目の内容を表9-1に示す。

表 9-1 緑のデータの項目内容

項 目	内 容	使用データ
基 礎 デ ー タ	地域における人口、面積、人口密度、地形状況等の緑をとりまく条件を整理した。	平成 31 年 1 月 1 日 現在
植 生 被 覆 率	地域における植生被覆地の割合を示すもので地域面積に占める植生被覆地面積の割合により、地域の植生被覆地総量を比較した。	令和元年度
緑 被 率	地域における樹木被覆地、草地、農地、屋上緑化の占める割合を示すもので地域面積に占める緑被地面積の割合により、地域の緑の総量を比較した。	令和元年度
み どり 率	地域における公園以外の緑被地面積、公園以外の水面面積、公園面積の占める割合を示すもので、地域のみどり率を比較した。	令和元年度
樹 林 被 覆 率	地域における樹木被覆地面積 300 m <sup>2</sup> 以上以上の樹林地を面積規模別の箇所数と面積を示し、地域面積当たりの樹林面積の割合により、地域の樹林面積総量を比較した。	令和元年度
大 径 木 の 本 数	地域における地上 1.5m の高さにおいて直径 90cm 以上の大径木本数を幹周別に示し、100ha 当たりの大径木により比較した。	令和元年度
屋 上 緑 化	地域における屋上緑化の箇所と面積を示し、100ha 当たりの箇所数により比較した。	令和元年度

# 板橋区全域



**地域の状況**  
板橋区は都心から約10kmに位置しており、古くから各種産業が発展している。東武東上線、都営三田線の沿線及び駅前を中心に多くの商店街を有しており、5つの鉄道路線があり、交通の利便性が高い。そのため、住宅都市として適しており、工場用地から住宅用地への転換、農地の宅地化が続いており、住宅用地が拡大している。

**緑の状況**  
本区は武蔵野台地と荒川の沖積低地で形成されており、崖線沿いの樹林地、23区内では少なくなった農地が織りなす独特の緑が特徴的であった。近年は宅地開発によってこれらの貴重な緑が減少している。また、建築計画等に伴い新たに緑地の整備が行われているが、同時に樹木や樹林の伐採によって、増加面積より減少面積が上回っており、樹木被覆地の減少が特に大きい。

**緑の課題**  
崖線沿いの樹林地、荒川・石神井川の水辺環境、区西部を中心に点在する農地や屋敷林、各地域に分布する公園緑地等の貴重なみどりを保全していく必要がある。特に、屋敷林や農地の住宅開発によって、民有地のみどりの減少が大きく、緑被率は減少している。緑化環境の向上をはかるには、庭木や生垣、屋上緑化などの民有地の緑化をはじめとして、緑の創出を積極的に進めていくことが求められている。

(基礎データ)

人口(人)	309,133
面積(ha)	3,217.0
人口密度(人/ha)	96.1
地形状況	台地・崖地・低地

(樹林地箇所/面積300㎡以上) 上段: 箇所数、下段: 面積

500㎡未満	500㎡～1000㎡	1000㎡～3000㎡	3000㎡以上	合計
921 箇所	592 箇所	316 箇所	89 箇所	1,918 箇所
35.65 ha	40.63 ha	52.18 ha	70.34 ha	198.81 ha
樹林被覆率(%)				6.18

(緑被率・植生被覆率・みどり率)

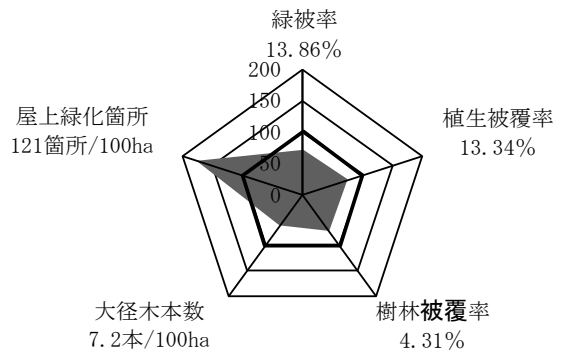
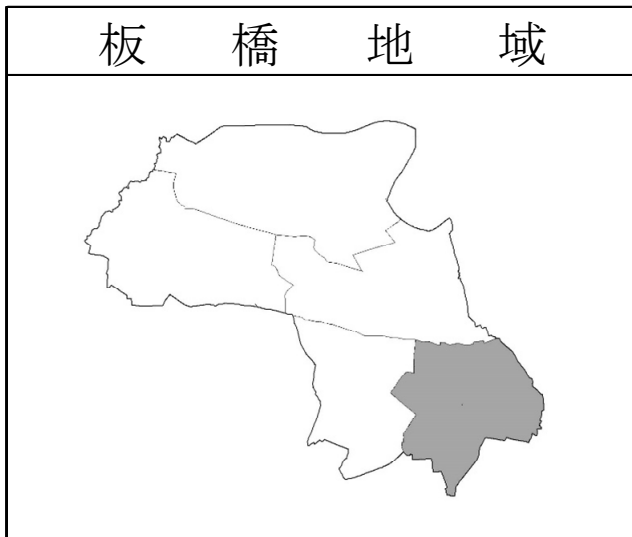
項目	面積(ha)	率(%)
緑被地	623.04	19.37
樹木被覆地	436.36	13.56
草地	158.10	4.91
農地	18.80	0.58
屋上緑化	9.78	0.30
裸地	98.46	3.06
水面	69.07	2.15
植生被覆地	581.40	18.07
みどり率	751.20	23.35
緑被率の変化状況	H26	R01
	20.26	19.37

(大径木の本数) 単位: 本

280cm未満	280～320cm	320～350cm	350～400cm	400cm以上
82	174	60	36	25
合計				377
100ha当たり本数				11.7

(屋上緑化)

箇所	2,198	面積(ha)	9.78
100ha当たり箇所数		68	



**地域の状況** 江戸時代から旧中山道の板橋宿や加賀金沢藩下屋敷として栄え、その後、中山道や川越街道沿いを中心に市街化が進んできた。板橋区役所、区立文化会館、グリーンホール、東板橋体育館や図書館等の区立施設や、警察署、消防署、税務署など国や東京都の機関、多数の医療・福祉施設が立地し、公共サービス機能が集積する地域である。また、大山駅を始めた東武東上線各駅、JR板橋駅、旧中山道沿いの商店街を中心とした小売業や事業所等、さまざまな商業・業務機能も集積している。

**緑の状況** 緑被率(13.86%)、植生被覆率(13.34%)ともに5地域の中で最も低く、加賀1、2丁目周辺等一部の地域を除くと、まとまった緑が少なく、緑被率が10%未満の町丁目が多い。主な緑被地は、石神井川周辺の公園緑地や区立小中学校、都健康長寿医療センターをはじめとした大規模な医療施設である。巨木本数は高島平地区と並んで最も少なく、5地域中、最も緑が不足している地域といえる。しかし、屋上緑化箇所は5地域で最も多く、屋上緑化面積も2番目に大きく、病院や大学に大規模な屋上緑化が整備されている。

**緑の課題**

- 石神井川沿いのみどりの保全。
- 公園・緑地の維持保全、道路や公共施設の緑化。
- 庭木や生垣など民有地の緑化。
- 公共施設、民有地における屋上緑化整備と適正な維持管理。

(基礎データ)

人口(人)	74,669
面積(ha)	525.0
人口密度(人/ha)	142.2
地形状況	台地・崖地・低地

(樹林地箇所/面積300㎡以上)

上段:箇所数、下段:面積

500㎡未満	500㎡～1000㎡	1000㎡～3000㎡	3000㎡以上	合計
126 箇所	72 箇所	50 箇所	9 箇所	257 箇所
4.84 ha	4.98 ha	8.76 ha	4.05 ha	22.64 ha
樹林地被覆率(%)			4.31	

(緑被率・植生被覆率・みどり率)

項目	面積(ha)	率(%)
緑被地	72.77	13.86
樹木被覆地	61.52	11.72
草地	8.90	1.69
農地	0.02	0.00
屋上緑化	2.33	0.44
裸地	14.90	2.84
水面	2.36	0.45
植生被覆地	70.05	13.34
みどり率	82.37	15.69
緑被率の変化状況	H26	R01
	14.23	13.86

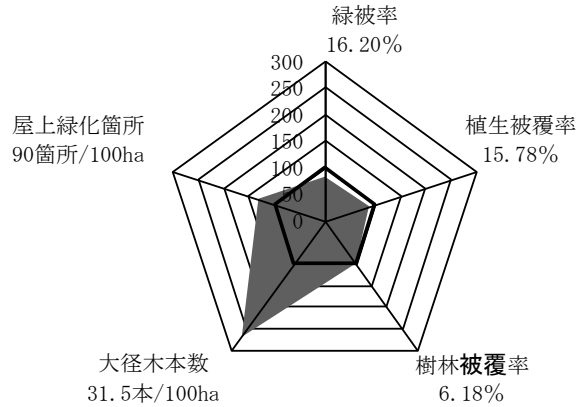
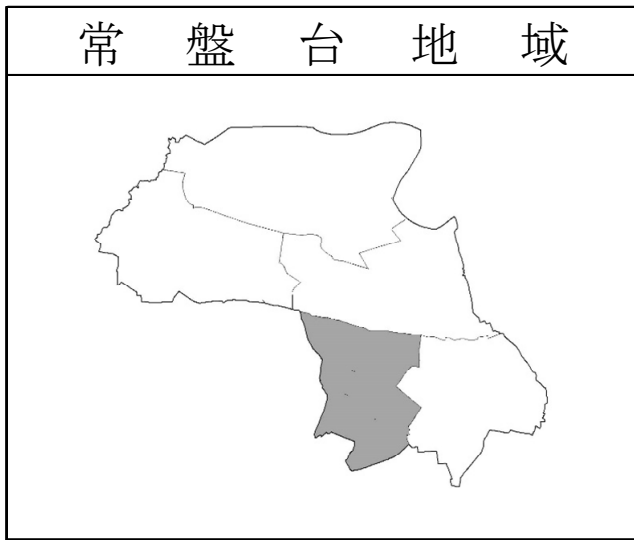
(大径木の本数)

単位:本

280cm未満	280～320cm	320～350cm	350～400cm	400cm以上
0	28	6	3	1
合計				38
100ha当たり本数				7.2

(屋上緑化)

箇所	面積(ha)
636	2.33
100ha当たり箇所数	121



**地域の状況**  
川越街道や東武東上線の駅を中心に住宅地として開発が進み、都立城北中央公園、板橋区平和公園、石神井川、沿道の街路樹といった公共空間における自然資源に恵まれた緑とうるおいのある地域である。

**緑の状況**  
都立城北中央公園、向原団地、心身障がい児総合医療療育センターの施設緑地、板橋区平和公園、茂呂山公園等の公園が緑の拠点となっている。緑被率は16.20%で2番目に低く、緑被率10%未満の町丁目もいくつかある。巨木は5地域中最も多い。樹林率は区平均と同率であり、屋上緑化箇所数は5地域の中で2番目に多いが、緑化面積は最も少なく、小規模な屋上緑化が多い。

**緑の課題**  
○生垣助成や庭木など住宅地など民有地における緑化の推進。  
○屋上緑化等の整備と適正な維持管理。  
○特に緑被率の低い地域の緑化推進。  
○石神井川の水辺空間の整備。  
○巨木・名木の保全。

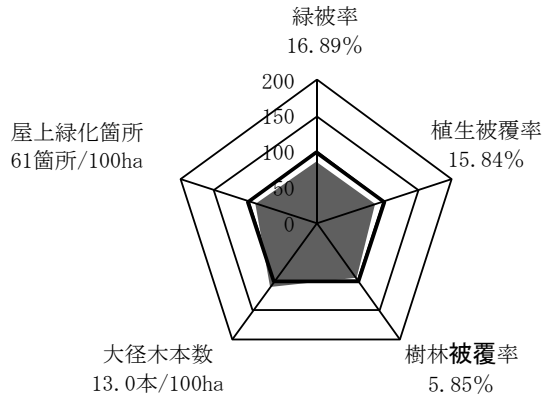
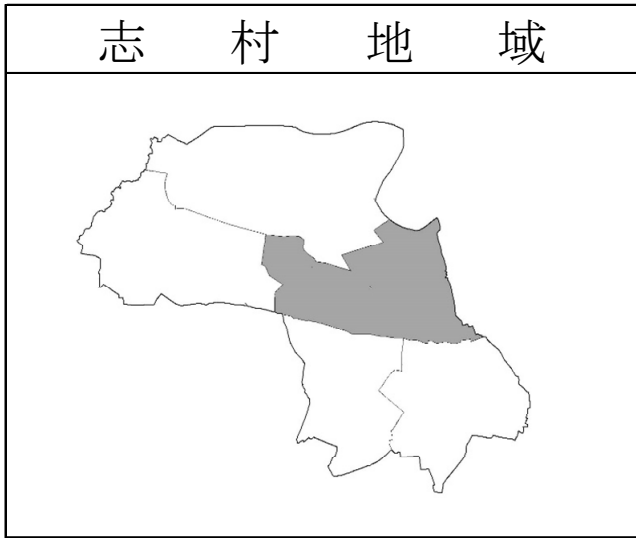
人口(人)	48,901
面積(ha)	467.1
人口密度(人/ha)	104.7
地形状況	台地・崖地・低地

500㎡未満	500㎡～1000㎡	1000㎡～3000㎡	3000㎡以上	合計
130 箇所	62 箇所	36 箇所	16 箇所	244 箇所
5.10 ha	4.19 ha	5.37 ha	14.21 ha	28.87 ha
樹林被覆率(%)				6.18

項目	面積(ha)	率(%)
緑被地	75.66	16.20
樹木被覆地	66.73	14.29
草地	7.58	1.62
農地	0.32	0.07
屋上緑化	1.02	0.22
裸地	14.68	3.14
水面	2.90	0.62
植生被覆地	73.70	15.78
みどり率	85.74	18.35
緑被率の変化状況	H26	R01
	17.35	16.20

280cm未満	280～320cm	320～350cm	350～400cm	400cm以上
44	64	18	11	10
合計				147
100ha当たり本数				31.5

箇所	421	面積(ha)	1.02
100ha当たり箇所数		90	



**地域の状況**  
 戦前から区の工業の中心地として印刷・機械工業などの産業が立地し、戦後から近年にかけて、工場の郊外移転や跡地の土地利用転換により、共同住宅や業務ビルなどの開発が進み、住・商・工が混在する市街地となった。地域には、工場のほか、志村一里塚や志村三泉(薬師の泉庭園、出井の泉公園、見次公園)などの歴史・自然の資源、エコポリスセンター、おとしより保健福祉センター、志村ふれあい館などの区有施設が位置している。

**緑の状況**  
 主な緑被地は、サンシティ、志村城山公園と隣接する熊野神社から小豆沢公園、小豆沢神社にかけての斜面緑地である。地域西端の西台には農地の分布が多く、地域の北西部に比較的緑被地が多い。緑被率(16.89%)、植生被覆率(15.84%)、樹林率(5.85%)は区の平均を下回るものの、大径木本数、屋上緑化率は区平均より上回っている。

**緑の課題**  
 ○崖線沿いの樹林地の保全。  
 ○屋上緑化等の整備と適正な維持管理。  
 ○中山道沿いの大規模工場と密集住宅地における緑化推進。  
 ○新河岸川の水辺空間と公園・緑地の一体となった整備。

(基礎データ)

人口(人)	64,719
面積(ha)	644.6
人口密度(人/ha)	100.4
地形状況	台地・崖地・低地

(樹林地箇所/面積300㎡以上) 上段: 箇所数、下段: 面積

500㎡未満	500㎡～1000㎡	1000㎡～3000㎡	3000㎡以上	合計
205 箇所	130 箇所	65 箇所	17 箇所	417 箇所
7.92 ha	8.99 ha	10.72 ha	10.11 ha	37.74 ha
樹林被覆率(%)				5.85

(緑被率・植生被覆率・みどり率)

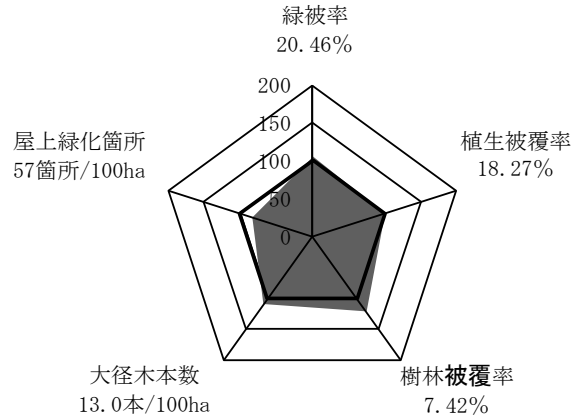
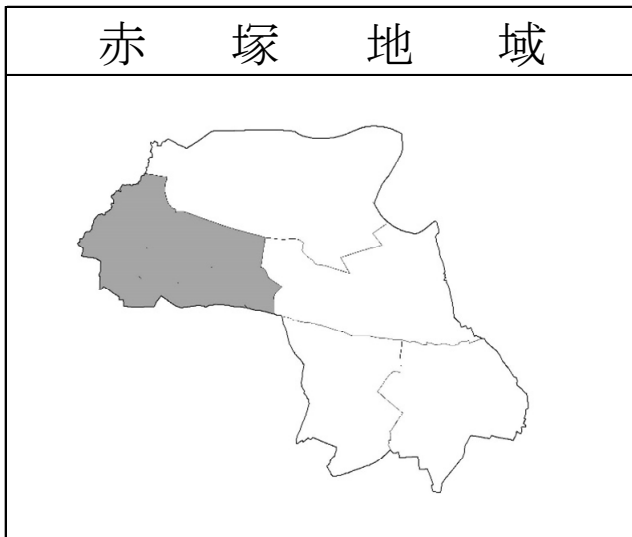
項目	面積(ha)	率(%)
緑被地	108.89	16.89
樹木被覆地	92.09	14.29
草地	11.93	1.85
農地	2.76	0.43
屋上緑化	2.10	0.33
裸地	15.27	2.37
水面	3.83	0.59
植生被覆地	102.12	15.84
みどり率	132.20	19.66
緑被率の変化状況	H26	R01
	17.81	16.89

(大径木の本数) 単位: 本

280cm未満	280～320cm	320～350cm	350～400cm	400cm以上
16	34	15	15	4
合計				84
100ha当たり本数				13.0

(屋上緑化)

箇所	393	面積(ha)	2.10
100ha当たり箇所数		61	



**地域の状況**  
 武蔵野台地の東北部に位置し、東武東上線や川越街道沿いの商業・業務などの都市機能が集積する地区、後背地の住宅地地区、戦前からの農地や樹林地など豊かな緑が残る武蔵野台地の崖線で構成されている。赤塚溜池公園、都立赤塚公園を中心とする崖線の緑と湧水のある良好な景観が地域の特徴である。また、赤塚城址及び周辺の寺社、郷土資料館、美術館など文化施設が集積し、自然・歴史・文化資源に恵まれた地域となっている。

**緑の状況**  
 主な緑被地は都立赤塚公園、成増五丁目アパートと隣接する公園であり、帯状に貴重な緑の拠点を形成している。また樹木被覆率、農地率は5地域中で最も高く、農地(14.78ha)は区全体の約8割を占める。緑被率(20.46%)、樹林率(7.42%)、巨木本数は区平均より高い。屋上緑化箇所、面積は5地域中2番目に少ない。

- 緑の課題**
- 崖線樹林地の維持保全。
  - 農地の維持保全。
  - 屋敷林の維持保全。
  - 川越街道等幹線道路沿いの緑の空白域の緑化。
  - 巨木・名木の保全。

(基礎データ)

人口(人)	61,308
面積(ha)	655.0
人口密度(人/ha)	93.6
地形状況	台地・崖地・低地

(樹林地箇所/面積300㎡以上) 上段: 箇所数、下段: 面積

500㎡未満	500㎡～1000㎡	1000㎡～3000㎡	3000㎡以上	合計
206 箇所	135 箇所	67 箇所	19 箇所	427 箇所
7.84 ha	9.12 ha	11.18 ha	20.48 ha	48.62 ha
樹林被覆率(%)				7.42

(緑被率・植生被覆率・みどり率)

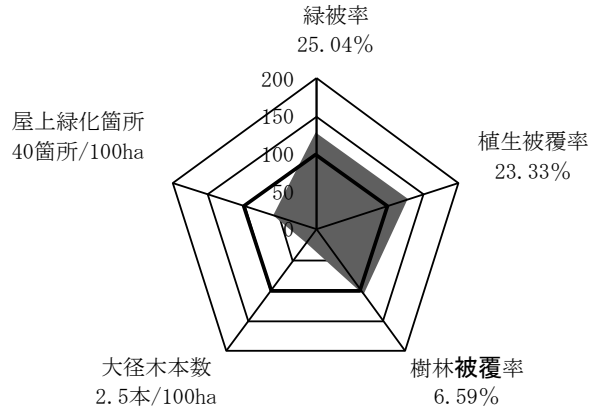
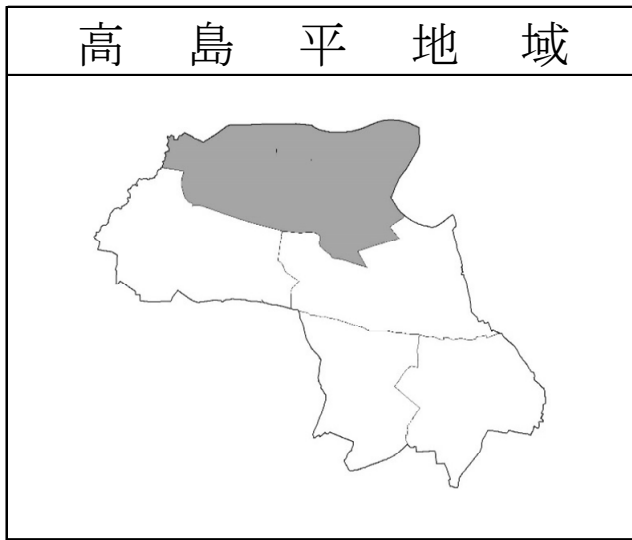
項目	面積(ha)	率(%)
緑被地	133.99	20.46
樹木被覆地	103.40	15.79
草地	14.54	2.22
農地	14.78	2.26
屋上緑化	1.27	0.19
裸地	20.56	3.14
水面	0.89	0.14
植生被覆地	119.65	18.27
みどり率	148.68	21.89
緑被率の変化状況	H26	R01
	21.76	20.46

(大径木の本数) 単位: 本

280cm未満	280～320cm	320～350cm	350～400cm	400cm以上
15	40	16	5	9
合計				85
100ha当たり本数				13.0

(屋上緑化)

箇所	375	面積(ha)	1.27
100ha当たり箇所数		57	



**地域の状況**  
 高島平は板橋区の北西部に位置し、1968年の都営地下鉄三田線志村駅(現:高島平駅)の開業以降、1972年には高島平団地を中心とした住宅開発が進んだ。一方、戦前まで水田であった荒川、新河岸川沿いや中山道沿道には、戦後大小の工場が立地した。

**緑の状況**  
 荒川河川敷の広大な緑地が緑の拠点となっている。地域の南西部に位置する高島平団地、都立赤塚公園も緑の拠点を形成している。緑被率、植生被覆率は5地域の中で最も高いが、樹木被覆率は低い。地敷地規模の大きい工場、供給処理施設、集合住宅が多く分布することから、屋上緑化の箇所数は5地域の中で最も少ないが面積は最も多い。一方で巨木の分布は少ない。

**緑の課題**  
 ○工場や浄水場等、大規模施設での緑化の推進。  
 ○住宅地における庭木や生垣等の緑化推進。  
 ○荒川、新河岸川の水辺空間の保全・活用。

(基礎データ)

人口(人)	59,536
面積(ha)	925.3
人口密度(人/ha)	64.3
地形状況	低地

(樹林地箇所/面積300㎡以上)

上段:箇所数、下段:面積

500㎡未満	500㎡～1000㎡	1000㎡～3000㎡	3000㎡以上	合計
254 箇所	193 箇所	98 箇所	28 箇所	573 箇所
9.95 ha	13.34 ha	16.15 ha	21.49 ha	60.93 ha
樹林被覆率(%)			6.59	

(緑被率・植生被覆率・みどり率)

項目	面積(ha)	率(%)
緑被地	231.73	25.04
樹木被覆地	112.61	12.17
草地	115.14	12.44
農地	0.92	0.10
屋上緑化	3.06	0.33
裸地	33.05	3.57
水面	59.08	6.39
植生被覆地	215.87	23.33
みどり率	302.20	34.60
緑被率の変化状況	H26	R01
	25.80	25.04

(大径木の本数)

単位:本

280cm未満	280～320cm	320～350cm	350～400cm	400cm以上
7	8	5	2	1
合計				23
100ha当たり本数				2.5

(屋上緑化)

箇所	面積(ha)
373	3.06
100ha当たり箇所数	40